

第3回宇部市地域ふくしプラン策定懇話会

- 1 日 時 令和3年3月26日(金) 13時30分～15時
- 2 場 所 宇部市総合福祉会館 2階 ボランティア交流ホール(大)
- 3 議 事 (1) 第二次宇部市地域ふくしプランについて
- 4 会議資料 ①第3回宇部市地域ふくしプラン策定懇話会次第
②第二次宇部市地域ふくしプラン(素案)に対する意見募集の結果概要
③第二次宇部市地域ふくしプラン案

5 概 要

- (1) 第二次宇部市地域ふくしプラン(素案)に対する意見募集の結果概要
会議資料②「第二次宇部市地域ふくしプラン(素案)に対する意見募集の結果概要」に基づき説明を行った。
- (2) 第二次宇部市地域ふくしプラン案について
会議資料③「第二次宇部市地域ふくしプラン案」に基づき説明を行い、委員から、次項の発言がなされるなどした。

6 委員発言要旨

- 4 ページからの部分に、生活困窮者のカテゴリがあるとよい。また、6 ページの「どこに相談したらいいかわからない」については、それですべてではないので削除してよいと思う。
- 55 ページについて、図を見ると、なんでも相談が一次窓口で他のところが関係機関のように見える。図の位置の変更などで対応を。
- 意見募集についてたくさん意見が出ており、市民の関心の高さがうかがえる。「災害に対する地域の意識の醸成」については、どういったところに反映させるか。防災士の活用も必要と考えている。
- 災害時に支援が必要な人への支援の仕組みづくりは、福祉で取り扱う分野だと考える。専門職も関わっていくような仕組みづくりが必要。
- 障害者が身近にいない人は、想像がしにくいと思う。福祉関係者については、是非研修などを充実させてほしい。防災担当部署は、要援護者支援については主管課に任せきりで関心が低いように思われた。縦割りで難しいとは思いますが連携して行ってほしい。

- 地区の自主防災会について、メンバーの増強や防災士の活用に取り組んでいる。地域のことを分かっている自治会長が指図し、動ける若い人が動くという流れに持っていきたい。
- 防災に関して、福祉の関わり方をどう考えていくか、福祉が防災の中心にはならないので、バランスをよく考える必要がある。
- 2ページの「自分らしく暮らすことができる」については、「互いに助け合う」などの文言を追加すると良いのではないか。「自分本位で」という意味合いに受け取られることが心配。
- 全部読むにはボリュームがあり、内容が把握しきれない。困りごとに対する相談窓口が分かりやすいと良いなと思っている。
- 民生児童委員としては、連絡係として関係機関につなぐことを重視していけばいいと考えている。関係者が手を組んで、取り組む必要があると思う。
- パブリックコメントの結果の公表について、ウェブサイトへの掲載だけでは見られない人が多くいる。パソコンが使えない高齢者にも情報が伝わる工夫をしてほしい。
- ページ数の少ない概要版があれば、手に取りやすく、多くの人に伝わりやすい。作成を検討していただきたい。